

2019.05.03 (Fri) 13:30-14:30

(開場 13:00-)

申込不要
参加無料

菊地成孔 (音楽家・文筆家) × 安田謙一 (ロック漫筆家) トークショー
ネオンとスクリーン: 「映画館」と「まち」をめぐる
— 新宿 / 神戸 / そして富山 —

63年、映画館2軒に挟まれて建つ銚子の料理屋に生まれ、映画館に入り浸った少年時代を過ごし、現在は長く新宿の住人としてミュージシャンのみに留まらず、音楽・映画評論などの執筆活動、ラジオDJとして活躍する菊地成孔氏と、62年、神戸で川島雄三「雁の寺」を観ていた映画館で産気づいた21歳の婦人から生まれ、現在は音楽誌での連載『書をステディ町ヘレディゴ』(イラスト・辻井タカヒロ氏)など、町での暮らしや日常性に根ざしたユーモラスな文章が人気のロック漫筆家・安田謙一氏による、「映画/映画館」と「まち/繁華街」をめぐる対談です。

申込不要
参加無料

2019.05.04 (Sat) 13:30-14:30

(開場 13:00-)

青野利光 (Spectator 編集長) × ワダヨシ (ferment books・ライター) トークショー
なぜ、僕たちはインディペンデント出版を続けるのか?

ネット配信やSNS全盛の時代。書店は年を追うごとに数を減らし、本の売上も右肩下がり。若者は活字を読まないと言われて久しい。そんな現代に、それでも本をつくり、売る理由とは、いったい何なのか? インディペンデントな本づくりの現場には、どんな苦勞や楽しさがあるのか?

個性的な切り口が光るカルチャーマガジンの編集長と、「ferment=発酵」を中心に食にまつわる本の編集者、ライターのおふたりが、赤裸々に語ります。

富山市立図書館 × BOOK DAY とやま 共同企画

会場 富山市立図書館本館 TOYAMA キラリ 2階ロビー

イベントには報道機関の撮影取材が入る場合があります。トークショー終了後にサイン会を予定しています。

主催 富山市立図書館交流行事運営委員会 (事務局 読書推進係)
BOOK DAY とやま実行委員会

所在地 富山市西町5番1号 TOYAMA キラリ内
TEL 076-461-3200



PROFILE

2019.05.03 (Fri)



菊地 成孔 (きくち なるよし)

1963年生まれの音楽家/文筆家/大学講師。音楽家としてはソングライティング/アレンジ/バンドリーダー/プロデュースをこなすサキソフォン奏者/シンガー/キーボーディスト/ラッパーであり、文筆家としてはエッセイストであり、音楽批評、映画批評、モード批評、格闘技批評を執筆。ラジオパーソナリティやDJ、テレビ番組等々の出演も多数。2013年、個人事務所株式会社ビュロー菊地を設立。

安田 謙一 (やすだ けんいち)

1962年神戸市生まれ。自ら、ロック漫筆家と称し、音楽誌などに寄稿する。それらを集めた『ピントがボケる音』(国書刊行会)と『なんとかとなんとかがいたなんとかズ』(プレスポップ)、書き下ろしの『神戸、書いてどうなるのか』(ぴあ)、辻井タカヒロ氏との共著に『ロックンロール・ストーブリーグ』(音楽出版社)などがある。2019年中には辻井タカヒロとの共著、第2弾を刊行予定。



2019.05.04 (Sat)

Spectator

青野 利光 (あおの としみつ)

年3回刊のカルチャーマガジン『Spectator (スペクテイター)』の編集発行人。エディトリアル・デパートメント代表。2011年から活動の拠点を長野市へ移して出版・編集活動を継続中。

ワダヨシ

編集者、ライター。翻訳家の和田侑子と編集ユニット ferment books を運営。翻訳書の編集などを手がけるほか、“マイクロ出版社”として『味の形 迫川尚子インタビュー』『サンダーキャッツの発酵教室』を発行。『スペクテイター vol.40 カレーカルチャー』に富山のカレールポを寄稿。



ferment
books

BOOK DAY とやま とは…

県内外の古書店が一同に集まるイベント。今年は総曲輪各所で様々なイベントも開催！

期間：2019.05.02 (Thu) - 2019.05.04 (Sat) メイン会場：グランドプラザ

主催：BOOK DAY とやま実行委員会、総曲輪グランドプラザ